

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）10月25日号 No. 1310

目次

● 2004年1～9月期のロシア乗用車市場 —外資の動きが活発化—	坂口 泉 1
● 統計速報	9
2004年1～6月のロシアの連邦管区別外国投資受入状況／9	
ロシアの金・外貨準備高1,000億ドル突破／9	
世界経済フォーラムの国際競争力報告／10	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	11
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	11

2004年1～9月期のロシア乗用車市場 —外資の動きが活発化—

はじめに

最近、ロシアの乗用車市場の好調さはさらに加速しており、2004年9月以降、複数の外国メーカーがロシアでの現地生産の可能性を検討していることを明らかにした。本稿では、外資の動きを中心に2004年1～9月期のロシアの乗用車部門の状況を報告する。

1. 主要国内メーカーの生産動向

ASM ホールディングによれば、ロシアの2004年1～8月期の乗用車生産量は前年同期比14%増の73万5,501台であった¹⁾。しかし、2004年上半期の生産量が前年比16.5%増であったことを勘案すると、7～8月は生産の伸びがかなり鈍化したことになる。一部の国産メーカーは2004年1～9月期の生産量をすでに発表しており、その数字を見ると、鈍化傾向がさらに明確に見て取れる。たとえば、ロシアの乗用車生産量の7割以上を占めるAvtoVAZ（ヴォルガ自動車工場）の同期の生産量は53万8,000台、前年同期比4.4%増にとどまった。同社の2004年上半期の生産量は前年同期比9%増だったので、第3四半期に生産の伸びが大幅に